

阿佐ヶ谷駅周辺エリア防災計画

阿佐ヶ谷駅前滞留者対策連絡会

令和3年10月

1 計画策定の背景

首都直下地震（マグニチュード7.3、震度6強）が午後2時に発生した場合、杉並区内には、学校や会社にいる人、買物をしている人、移動中の人で約34万人の滞留者が発生すると推計されている。阿佐ヶ谷駅周辺では、JR中央線の乗降客や駅周辺の買物客などにより、数千名の駅前滞留者が発生することが見込まれる。

※阿佐ヶ谷駅の一日あたりの平均乗降客数（2017年）

JR 91,284人（乗車人員×2で算出）

鉄道機関では、全線が停止となり線路や駅舎の点検確認に入り、被害状況によっては数日間の運行停止となり、徒歩による帰宅困難者が多数発生すると想定されている。

（参考）東京湾北部地震による杉並区での被害想定（平成24年4月発表）

・規模 M7.3 ・時間 午後6時 ・風速 8m

死者	556名
負傷者	4,849名
建物被害(全壊)	3,692棟
避難者数	176,369名
徒歩帰宅困難者	92,357名 このうち、行き場のない帰宅困難者が18,024名

※行き場のない帰宅困難者

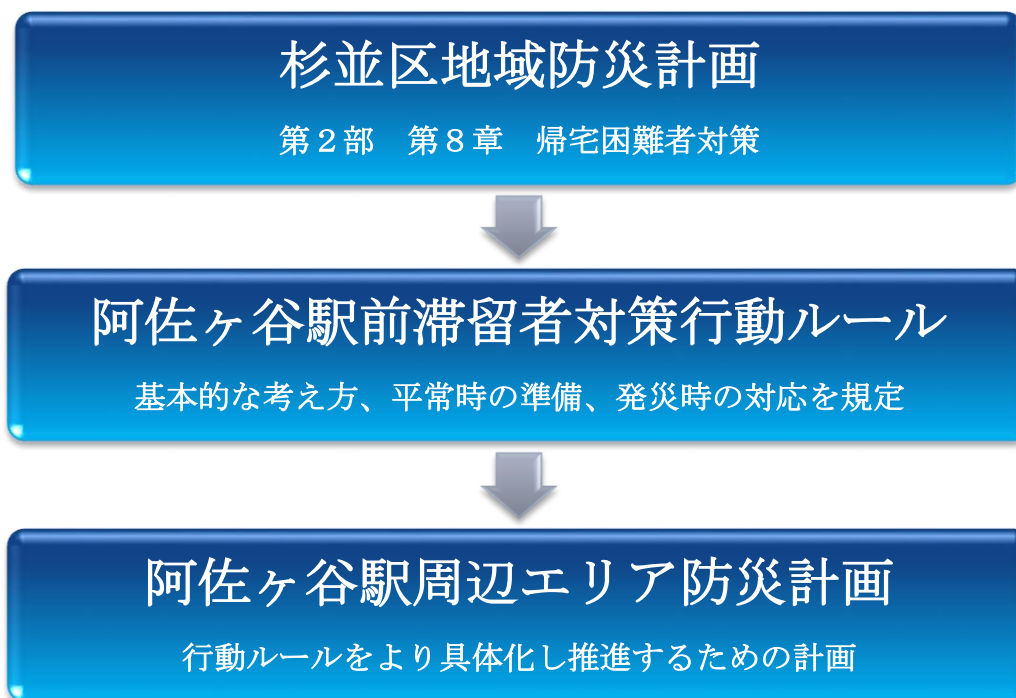
徒歩で自宅へ帰宅することのできない人（徒歩帰宅困難者）のうち、学校や会社などに留まれる場所（行き場）のない人 [例：来街者や日帰りのビジネスマンなど]

2 計画の目的

- 大規模地震等発生時の阿佐ヶ谷駅周辺地域で想定される、滞留者や帰宅困難者の発生による混乱を防止し、安全に暮らせるまちづくりに資する。
- 阿佐ヶ谷駅周辺の事業者等関係機関との連携をさらに強め、災害に強いまちづくりを確立する。

3 計画の位置づけ

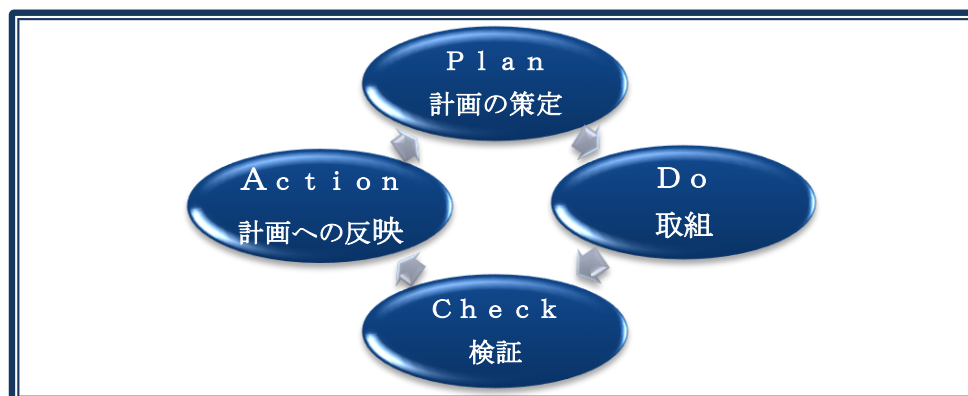
阿佐ヶ谷駅周辺エリア防災計画は、杉並区地域防災計画「第2部第8章 帰宅困難者対策」及び「阿佐ヶ谷駅前滞留者対策行動ルール」に基づき、帰宅困難対策、駅前滞留者対策をより具体化し、推進する計画である。



4 計画の対象期間及び推進

- 本計画は、期間を定めず、PDCAサイクルにより、計画にそって取組の実施、結果の検証、改善、計画へのフィードバックを行う。
- 本計画をより実効性のあるものとするため、本計画の趣旨・内容を、阿佐ヶ谷駅周辺住民をはじめ、幅広く周知を図り、関係者の理解と協力を深めていく。
- 本計画に記載する滞留者等の安全確保に向けた取組等が、災害時にも円滑に実行できるように、定期的に訓練等を実施する。

※ 期間を定めず、PDCAサイクルにより、計画に沿って取り組み、結果の検証、改善、計画への反映を行う。



5 地域特性及び課題（別図1参照）

- ・ 駅周辺の商店街は、南が青梅街道から北が早稲田通りまで南北に長く形成され、大規模集客施設は少ないものの、区役所をはじめ警察署、消防署、税務署などの官公庁のほか、地域区民センターや商工会館などがある。
- ・ 商店街を少し入ると閑静な住宅地であるが、老朽した木造住宅が多く火災危険度が高い木造住宅密集地域に指定されている。
- ・ 駅付近には、飲食店などの小規模な店舗が密集し、一時滞在施設となるような民間事業所が多くはない。
- ・ 主要な道路としては、南側に青梅街道、北側に早稲田通り、南北道路として中杉通りがあり、その他は狭い道路や袋小路の道路が多くある。
- ・ JR阿佐ヶ谷駅は、南口広場が広く、他の区内JR駅に比べると滞留可能なスペースがあります。一方、丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅の出入り口付近は、狭く、ホームからの避難者があった場合には十分な滞留可能なスペースがない。
- ・ JR阿佐ヶ谷駅を始発とするバス路線が複数ある。
- ・ 広域避難場所として杉並高校周辺の善福寺川緑地和田堀公園（西側）一帯が、一時避難地として馬橋公園が、それぞれJR阿佐ヶ谷駅から1km程度の場所にある。
- ・ 駅周辺には、杉並学院、文化杉並学園や杉並高等学校などがあり多くの生徒が利用している。

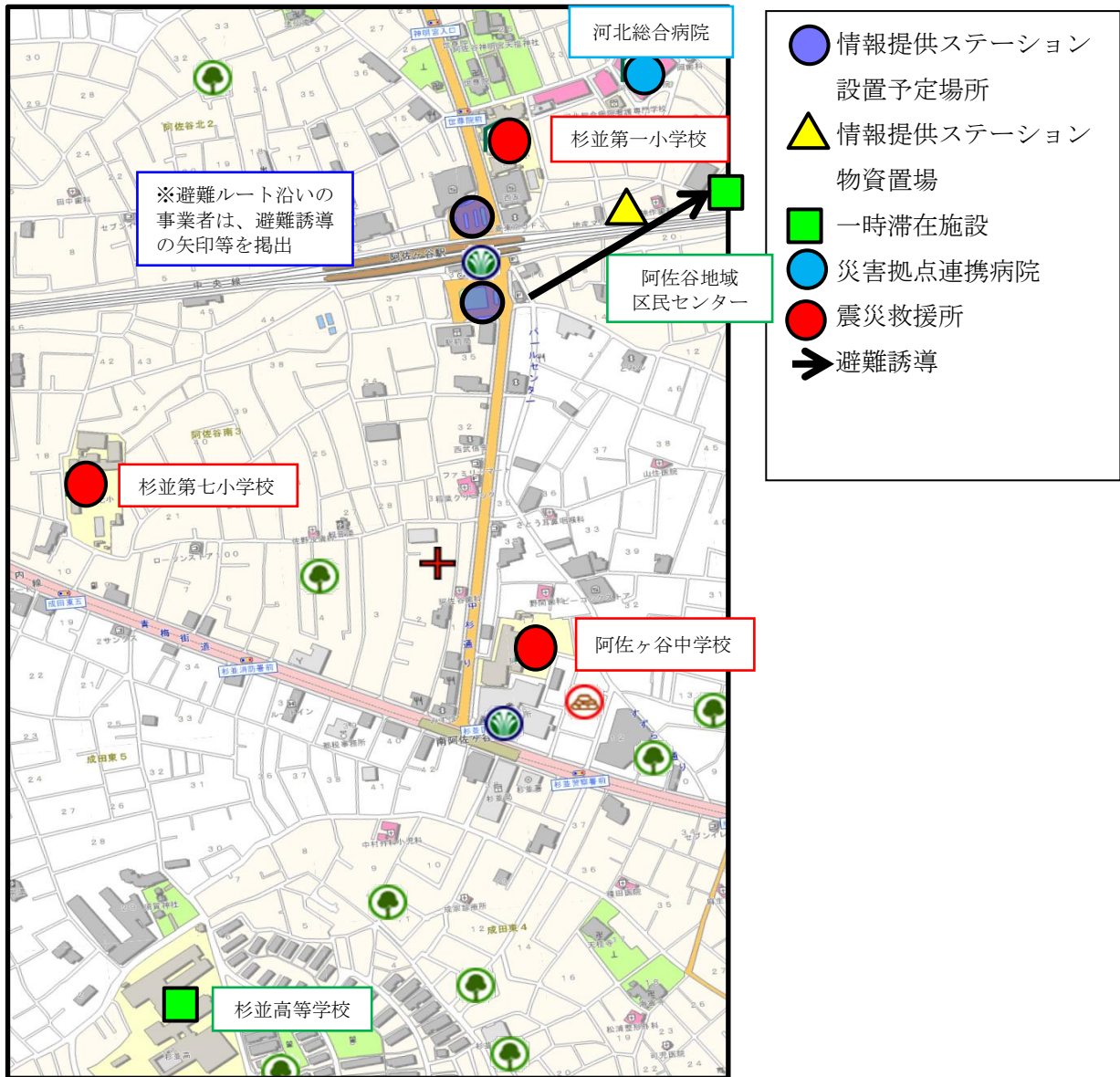
【今後検討すべき課題】

- 行政・鉄道事業者・商業施設等、関係機関の役割の継続的な検討
- 発災時における情報の共有、提供方法
- 配慮が必要な滞留者（障害者・高齢者・妊婦・乳幼児・外国人等）の対策
- 一時滞在施設等への誘導方法及び誘導主体の具体化

6 災害発生時の連携・協力体制

多くの帰宅困難者が滞留すると想定される駅周辺等で情報提供を行うとともに、状況に応じて安全な地域や一時滞在施設への避難誘導、一時滞在施設の運営協力を行う。（イメージは次ページ）

<阿佐ヶ谷駅周辺の帰宅困難者対策(イメージ)>



○ 阿佐ヶ谷駅周辺では、駅北口又は南口に情報提供ステーションを設置し、駅周辺の屋外滞留者に対し、災害関連情報の提供を行う。

また、駅構内の安全が確認された場合は駅構内への誘導を行い、一時滞在施設が開設された場合や近隣の施設に滞在スペースを確保できた場合には、当該施設への誘導を行う。

1F



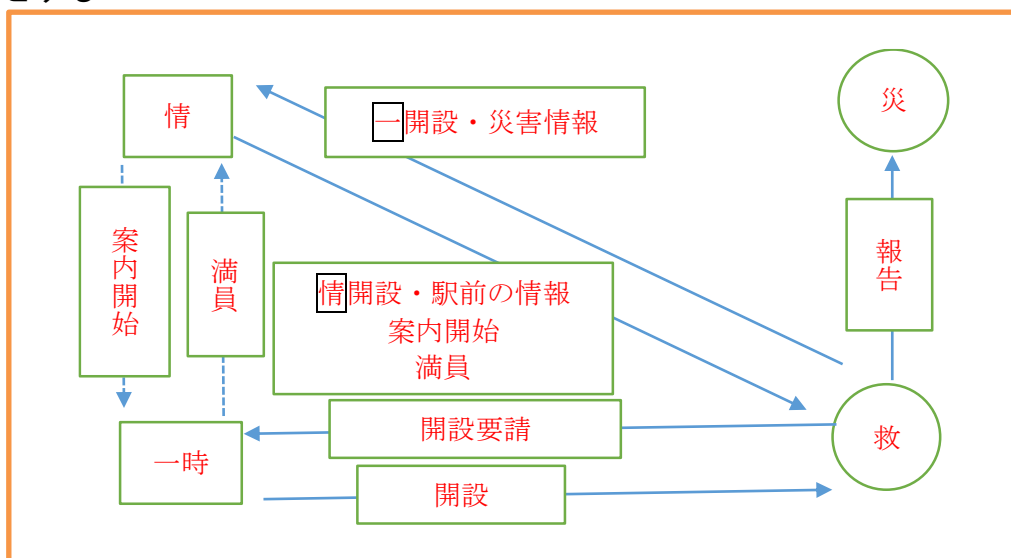
7 災害関連情報の提供

(1) 情報収集及び情報提供

- 区は、国、都、警察、消防、マスコミ、鉄道事業者、公共機関等から災害関連情報（公共交通機関運行状況、道路被害状況、一時滞在施設開設状況等）の収集を行い、収集した情報を、防災行政無線等を通じて、公共交通機関、震災救援所、一時滞在施設等へ提供する。
- 区、阿佐ヶ谷駅周辺の事業者、町会、商店会等（以下「駅周辺事業者等」という。）は、屋外滞留者への情報提供の場として、駅周辺に情報提供ステーションを設置する。

(2) 情報提供ステーションの運用

- 情報提供ステーションは、区、駅周辺事業者等が連携・協力し、6名程度の人員により運営する。
- 駅周辺事業者等は、自助の取組が一定程度落ち着いた後に情報提供場所に参加し、情報提供ステーションを設置する（発災後3時間を目安）。
- 区は、駅及び情報提供ステーションに防災行政無線等により災害関連情報（一時滞在施設の開設状況を含む）の提供を行う。情報の流れ以下のとおりとする



※凡例 情 情報提供ステーション

一時 一時滞在施設

災 災害対策本部

救 救援隊本隊

※ 区職員（救援隊本隊帰宅困難者対応班2名程度）は、発災後約3時間を目安にJR各駅に配備される。その後は駅周辺事業者等と職員が協力し、情報提供ステーションの運営にあたる。

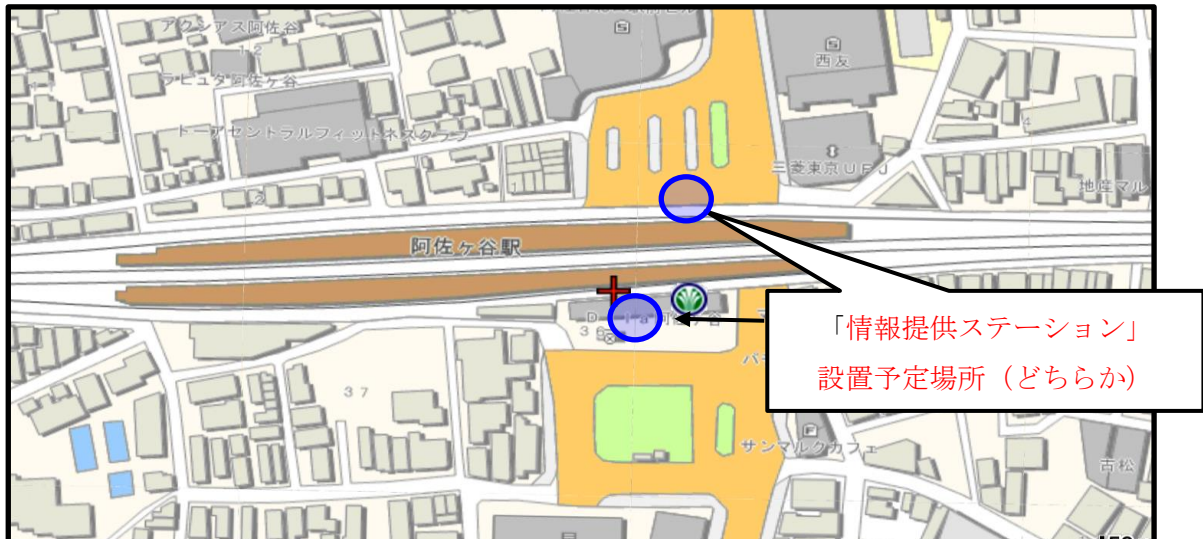
○ 情報提供ステーションは、IP無線機を活用した情報収集、ポスターサイズの地図及びホワイトボードによる情報提供（公共交通機関の運行状況、一時滞在施設の開設状況、駅周辺の災害状況等）、駅前の滞留者に区が事前に準備した阿佐ヶ谷駅周辺地図（災害時帰宅支援マップ）を配布、近隣の広域避難場所、一時滞在施設等の案内を行う。

(3) 情報提供ステーション備品・配置

○情報提供ステーション資器材一覧（別表1参照）

○情報提供ステーション人員・資器材配置（別図2参照）

(4) 情報提供場所



8 避難誘導

(1) 避難誘導方法

<第1段階（災害発生から一定程度落ち着くまで）>

- 施設管理者や鉄道事業者は、各々のマニュアルに従い従業員、職員、利用者等の安全を図る。
- （建物の被害や火災等で）施設の安全性が確認できない場合や、利用者数が収容範囲を超えているなどの理由で利用者を施設外に誘導する際は、情報提供ステーション等で情報を共有するとともに周辺の空地等の安全な場所までの避

難誘導を行う。

- 安全な場所までの避難誘導経路が道路を横切る場合には、信号が停止している等の状況で相当な混乱が予想されることから、横断歩道の両端に人員を配置して避難誘導を行う。

<第2段階（一時滞在施設が開設されてから）>

- 情報提供ステーションは、区から一時滞在施設が開設された情報を得た場合は、阿佐ヶ谷駅周辺にいる屋外滞留者に情報を提供し、一時滞在施設まで避難誘導する。
- 直接避難誘導を行う場合は、共通のベストを着用し、誘導灯及びトランジスタメガホンにより行う。

9 一時滞在施設の運営

(1) 阿佐ヶ谷駅周辺の一時的滞在施設（令和4年4月現在、別図1参照）

- 阿佐谷地域区民センター（区立） 杉並区阿佐谷北1丁目1番1号
最大受入人数（440名）
- 学校法人文化杉並学園（民間） 杉並区阿佐谷南3丁目48番16号
最大受入人数（250名）
- 杉並学院中学・高等学校（民間） 杉並区阿佐谷南2丁目30番17号
最大受入人数（130名）
- 久遠キリスト教会（民間） 杉並区阿佐谷北2丁目25番8号
最大受入人数（50名）
- 杉並高等学校（都立） 杉並区成田西4丁目15番15号
最大受入人数（493名）
- ホテルルートイン東京阿佐ヶ谷 杉並区成田東5丁目35番14号
最大受入人数（80名）
- 日本基督教団阿佐ヶ谷教会 杉並区阿佐谷北5丁目18番10号
最大受入人数（250名）

(2) 杉並区内の一時的滞在施設（令和4年2月現在）

	施設名	所在地	最大受入人数
立都	都立杉並高等学校	杉並区成田西4丁目15番15号	493

	都立豊多摩高等学校	杉並区成田西2丁目6番18号	300
	都立農芸高等学校	杉並区今川3丁目25番1号	200
区立	井草地域区民センター	杉並区下井草5丁目7番22号	300
	西荻地域区民センター	杉並区桃井4丁目3番2号	625
	荻窪地域区民センター	杉並区荻窪2丁目34番20号	350
	阿佐谷地域区民センター	杉並区阿佐谷北1丁目1番1号	440
	高円寺地域区民センター	杉並区梅里1丁目22番32号	950
	高井戸地域区民センター	杉並区高井戸東3丁目7番5号	625
	永福和泉地域区民センター	杉並区和泉3丁目8番18号	350
	永福図書館・コミュニティふらっと永福	杉並区永福3丁目51番17号	560
民間	創価学会 杉並文化会館	杉並区阿佐谷南3丁目51番3号	100
	立正佼成会 大聖堂/第二団参会館	杉並区和田2丁目11番1号/杉並区 方南2丁目29番25号	500
	松本工業(株) 宮前ビル	杉並区宮前1丁目20番32号	50
	東京土建一般労働組合 杉並支部	杉並区高円寺南3丁目6番2号	100
	トヨタモビリティ東京(株) 高井戸桜上水店	杉並区下高井戸1丁目17番15号	100
	ワールドメイト	杉並区西荻北4丁目14番19号平 成ビル3階	140
	トヨタモビリティ東京(株) レクサス浜田山	杉並区浜田山4丁目5番8号	100
	学校法人文化杉並学園	杉並区阿佐谷南3丁目48番16号	250
	座・高円寺	杉並区高円寺北2丁目1番2号	120
	杉並学院中学・高等学校	杉並区阿佐谷南2丁目30番17号	130
	サンワコムシスエンジニア リング株式会社	杉並区高円寺南2丁目12番3号	25
	久遠キリスト教会	杉並区阿佐谷北2丁目25番8号	50
杉並公会堂	杉並区上荻1丁目23番15号	100	

民間	ホテルルートイン東京 阿佐ヶ谷	杉並区成田東5丁目35番14号	80
	明聖高等学校 中野キャンパス	杉並区高円寺南5丁目15番3号	50
	トヨタモビリティ東京㈱ LTG荻窪店	杉並区宮前1丁目20番22号	100
	トヨタモビリティ東京㈱ 高井戸インター店	杉並区上高井戸3丁目11番11号	100
	トヨタモビリティ東京㈱ 井荻店	杉並区今川1丁目1番20号	100
	トヨタモビリティ東京㈱ 高井戸北陸橋店	杉並区高井戸東4丁目11番20号	100
	日本基督教団 阿佐ヶ谷教会	杉並区阿佐谷北5丁目18番10号	250

(3) 一時滞在施設の開設

各一時滞在施設は、施設の損傷の有無や施設利用者の滞在状況を確認し、一時滞在施設の開設の可否を区に連絡する。

区は、開設した一時滞在施設に関する情報を防災行政無線、Lアラート、エリアメール、防災情報メール、ホームページ、ツイッター等により、鉄道事業者、情報提供ステーション等に情報を提供する。

(4) 一時滞在施設の運営内容

一時滞在施設の運営は、各施設のマニュアルに基づき、主に以下の項目について、施設管理者と区職員（帰宅困難者対策班）とが協力して行う。突発事象発生時については、協議して運用し、応援が必要な場合は区災害対策本部に連絡して要請する。

- 帰宅困難者の滞在スペースの提供
- 施設滞在者への食料、水、生活物資等の提供（施設への物資運搬含む）
- 施設滞在者への災害関連情報（被災状況、交通情報等）の提供
- 施設滞在者への通信連絡手段（特設公衆電話、携帯充電器等）の提供

(5) 一時滞在施設運営支援

一時滞在施設に避難者が殺到し混乱する可能性がある場合は、可能な範囲で駅周辺事業者等も支援する。

- 備蓄物資の運搬及び配布
- 一時滞在施設運営用資機材の設置
- 施設内の防犯、警備

情報提供ステーション資器材一覧

番号	資器材	個数
1	テント	1台
2	テント用重り (10kg)	4個
3	テーブル	1台
4	ランタン	2個
5	メガホン	2個
6	のぼり	2枚
7	のぼり用さお	2本
8	誘導棒	20本
9	ヘッドライト	20個
10	ベスト	25枚
11	軍手	12双
12	電池単1、単2、単3	各10パック
13	養生テープ	4個
14	A4用紙	1冊
15	マジック	3本
16	折り畳みコンテナ	2個
17	イーゼル	2個
18	ホワイトボード	1枚
19	ホワイトボード用マーカー	3本
20	ホワイトボード用イレイサー	1個
21	駅前滞留者用地図 (ポスターサイズ)	1枚
22	駅前滞留者用地図 (配布用)	1500枚
23	フェイスシールド	25枚
24	マスク	50枚
25	ゴム手袋	50双
26	台車	1台



情報提供ステーション人員・資器材配置

